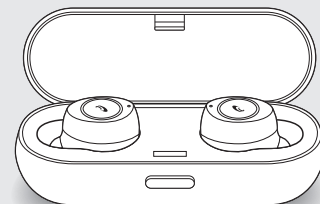


AudioComm®

取扱説明書

完全ワイヤレスイヤホン

型番 HP-W500N-W 品番 03-2095
HP-W500N-K 03-2096
HP-W500N-R 03-2097



このたびは、AudioComm® 完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ

●通話料無料 ●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006 048-992-2735

電話受付 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

<目次>	1
免責事項	1
充電式電池について	1
安全上のご注意	2~5
防水保護等級について	5
Bluetoothについて	6~8
各部の名称	9
イヤホンの装着方法とイヤーチップの交換方法	9
充電のしかた	10~11
オートペアリングと電源のオン／オフについて	12~13
ペアリング(初期登録)のしかた	13~15
音楽を聴くときの操作	15
携帯電話着信時の操作	16
操作／動作時のインジケータ表示とイヤホン音声	16
マルチポイント機能について	17~18
故障かなと思ったら	19~20
お手入れのしかた	20
主な仕様	21
保証書とアフターサービスについて	22

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

- 充電式電池(リチウムポリマー電池：イヤホン及び充電ケースに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよく読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例



△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「感電注意」が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
左図の場合は「ACアダプターをコンセントから抜く」が描かれています。

危険



接触禁止

充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない

- 本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池が内蔵されています。万一液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様ご相談室にご連絡ください。
- 万一液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

警告

 22cm以上離す	心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
 接触禁止	雷が鳴り始めたら、安全のためイヤホン、充電ケース及び充電コードに触れない ●感電するおそれがあります。
 使用禁止	万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。 万一、内部に異物などがいった場合は、すぐに使用を中止する ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。
 分解禁止	分解、修理、改造しない ●火災・感電の原因となります。
 禁止	航空機内や医療機器の近くで使わない ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。 付属の充電コード以外では充電しない ●火災や感電、機器の故障の原因となります。 運転中は本製品及び携帯電話を使用しない。運転中に携帯電話の画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(路切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない ●必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。 ●歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。 火の中に入れない ●本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池(リチウムポリマー電池)が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因になります。 充電ケースを他の製品に使用しない。また、充電ケースにイヤホン以外のものを入れない ●火災・感電の原因となったり、ショートして故障するおそれがあります。

警告

 禁止	自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない ●高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムポリマー電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。 イヤホンや充電ケース、充電コードの上に重いものをのせない ●破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。 充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
---	---

注意

 水かけ禁止	シャワーや水を直接かけない。水中につけない ●本製品の防水保護等級は防まつ形です。完全な防水仕様ではありません。 ●充電ケース及び充電コードは防水仕様ではありません。水のかかる場所で充電したり、保管しないでください。
 保管場所に注意	小さなお子様の手の届かないところに保管する ●誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。
 音量は小さく	長時間、大音量で聴き続けない ●聴力障害などの原因となることがあります。
 禁止	暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない ●破損・故障の原因となります。 振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない ●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。 シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない ●変形・変色の原因となります。 充電コードを熱器具に近づけない ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意



禁止

ズボンなどの後ろポケットに本製品を入れたり、かばんの中に入れたままにしない
●気づかずに椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして、変形や破損、故障の原因となることがあります。

イヤホン及び充電ケースに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
●本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない
●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグ部を持って抜いてください。

日本国以外では使用しない
●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

防水保護等級について

本機(イヤホン)はJIS C0920:2003(IEC 60529:2001)による水の浸入に対する保護等級「IPX4」(水の飛まつに対して保護する)仕様となります。本機は小雨の野外、水の飛まつがかかる場所でご使用いただけますが、以下の点に十分ご注意ください。

- シャワーやお湯を直接かけたり、水中につけないでください(完全防水設計ではありません)。
- 石けんの泡やオイルのついた手でさわらないでください(水分が浸入する可能性があります)。
- ドライヤーで乾かさなでください(密閉部が変形する可能性があります)。
- イヤホンの充電端子が濡れたまま、充電ケースに入れないでください(感電したり、ショートするおそれがあります)。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。
- 充電ケース及び充電コードは防水仕様ではありません。水がかかるおそれのある場所で充電したり、保管しないでください。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大約10m)であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本製品は以下のバージョン及びプロファイルに対応しており、ご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本製品の性能・機能が制限される場合があります。

※本製品はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.5.0

【対応プロファイル】

- ・HSP(通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・HFP(ハンズフリーで通話／携帯電話などを操作するためのプロファイル)
- ・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- ・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)
- ・TWS(2つのBluetooth対応スピーカーを接続してステレオ再生を行なうためのプロファイル)
- ・SPP(仮想シリアルポートを用いて2つのBluetooth機器間でデータ通信を行なうためのプロファイル)

セキュリティについて

本製品はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

Bluetoothについて(つづき)

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

本製品の機器認定について

本製品は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本製品を分解・改造する行為、本製品に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。

 D18-0255001
204-820426

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室にご連絡いただき、混信回避のための処置(例えばパーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

TWS(True Wireless Stereo)機能について

TWSは2つのイヤホンをBluetoothによりペアリングすることで、左右独立したステレオサウンドを実現する機能です。

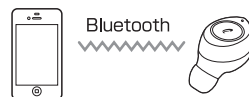
本製品は、●左右いずれかのイヤホンを単独で使う(シングル接続)

●2つのイヤホンをステレオイヤホンとして使う(TWS接続)

のいずれの使いかたにも対応しています。

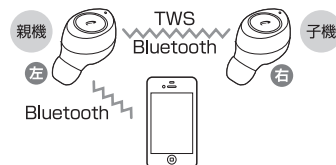
●シングル接続の場合：

音声はL音声出力となります。



●TWS接続の場合：

左右独立した音声出力により、広がりのあるステレオサウンドを楽しめます。



※親機と子機は左右入れ替わる場合があります。

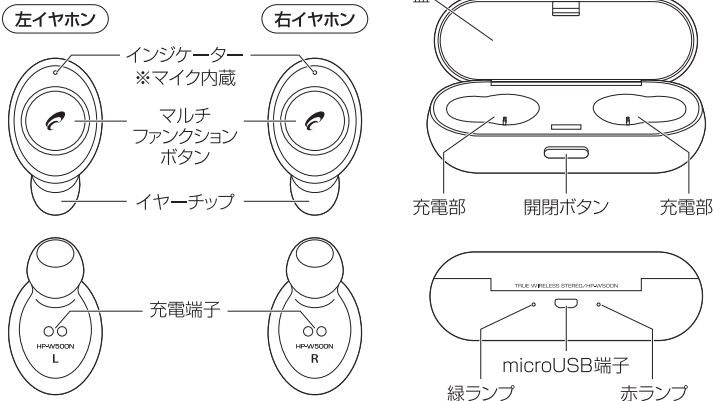
医療機器近くで使用する際は、特に注意してください

- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本製品を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を22cm以上離して、携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本製品をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります。ご使用の際は十分にご注意ください。

各部の名称

イヤホン(本機)

充電ケース

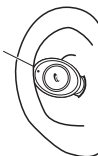


イヤホンの装着方法とイヤークリップの交換方法

イヤホンの装着方法

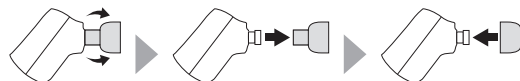
イヤークリップ部を耳穴に入れ、イヤホン自体を回しながら耳ひだの中に軽く押し込み、安定する位置に装着してください。

耳ひだの中に
軽く押し込む



イヤークリップの交換方法

本製品には3種類(S、M、L)のイヤークリップが付属しています。フィットするサイズを選んでご使用ください(工場出荷時はMサイズが装着されています)。



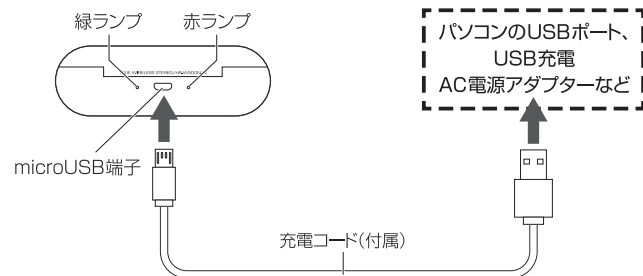
イヤークリップを裏返す イヤークリップを取り外す 新しいものをはめ込む

充電のしかた

はじめてお使いになるときは、充電ケース、イヤホンともに十分に充電してください。

充電ケースを充電するときは

充電ケースのmicroUSB端子とパソコンなどのUSB端子を付属の充電コードで接続します。充電が始まると赤ランプが点灯し、完了すると緑ランプが点灯します(赤ランプは消灯)。

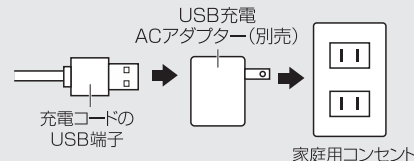


重要

付属の充電コードは本機専用です。他のUSBコードを本機の充電に使わないでください。また付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。機器やデータの故障、破損につながる場合があります。

ヒントとご注意

- パソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに直接接続してください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。また、充電中にパソコンが省電力モードやスリープモードになると正しく充電されません。
- 家庭用コンセントで充電する場合は、USB充電AC電源アダプター(別売)をご利用ください。



充電のしかた(つづき)

イヤホンを充電するときは

充電ケースにイヤホンをセットすると、自動で充電が始まります。充電中はインジケータ(赤)が点灯し、完了すると消灯します。

充電ケースがフル充電の場合、3回分のイヤホン充電が可能です。



充電が始まったら蓋を開けてください。

※充電ケースが十分に充電されていないときは、イヤホンの充電が不安定になることがあります。

※イヤホンに水滴が付着している場合は、よく拭き取ってからセットしてください。

ヒントとご注意 ※充電ケース充電時・イヤホン充電時共通

- 十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、内蔵されている充電式電池の寿命と考えられます。
- 許容動作環境(温度: 0℃~40℃、湿度: 20~80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくても充電ケースの赤ランプやイヤホンのインジケータが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
- Bluetooth接続中にイヤホンの電池残量が少なくなると、「[バッテリー ロー]」の音声が数回流れます。その後しばらくすると電源が切れますので速やかに充電してください。
- 長期間使わなかったときは、イヤホンや充電ケースの電池持続時間が短くなることがあります。この場合は何回か充電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

オートペアリングと電源のオン/オフについて

各操作時におけるインジケータ表示やイヤホン音声はP.16をご参照ください。

オートペアリング

- 充電ケースからイヤホンを2つとも取り出すと自動で電源が入り、双方がTWS接続された後、ペアリングモードになります。
- 片方だけ取り出した場合も自動で電源が入り、シングル接続でのペアリングモードになります。
- どちらの場合も、ペアリング済みの機器が近くにあり、その機器のBluetooth機能が有効なときは、自動でペアリングします。ただし、接続する機器の仕様により自動でペアリングしない場合があります。そのときは機器付属の取扱説明書に従い、接続してください。
- 使用後、充電ケースにイヤホンに戻すと自動で電源が切れます。

→ はじめて使うときは、Bluetooth機器(相手側機器)とのペアリングが必要です。
「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。

ご注意

- 充電ケースの電池残量がゼロのときは、充電ケースからイヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります。その場合は手動でイヤホンの電源を入れてください。また、できるだけ早く充電ケースも充電してください。

ヒント イヤホンどうしのTWS接続ができなくなったら

- 1 2つのイヤホンを1m以内に近づけます。電源が入っているときはどちらも切ります。
- 2 双方のマルチファンクションボタンを20秒間長押しします。
インジケータが点灯・点滅したり、音声や電子音が流れますが、20秒間押し続けてください。青・赤のインジケータが同時に1秒間点灯して消え、電子音が流れたら、接続記録がリセットされます。
- 3 充電ケースに戻します。
インジケータが赤く点灯するのを確認します。
- 4 双方を取り出して正しくTWS接続できるか確認してください。
自動で電源が入った後しばらくすると、「[TWSコネクテッド]」の音声流れてTWS接続が完了します。

※TWS接続をリセットした後、自動でペアリングされなくなった場合は、Bluetooth機器側で本機の登録を削除し、ペアリングを最初からやり直してください。



オートペアリングと電源のオン／オフについて(つづき)

手動での電源オン／オフ

電源 オン

電源を入れるときは、マルチファンクションボタンを約3秒間長押ししてください。
TWS接続時は、双方のマルチファンクションボタンを同時に約3秒間長押ししてください。

マルチファンクション
ボタン



電源 オフ

電源を切るときも、マルチファンクションボタンを約3秒間長押ししてください。
TWS接続時は、片方のマルチファンクションボタンを約3秒間長押しすると両方の電源が切れます。

ヒント 自動電源オフ機能について

電源オンの後、ペアリングやBluetooth接続が完了していない状態が約5分間続くと、節電のためイヤホンの電源は自動的に切れます。

ペアリング(初期登録)のしかた

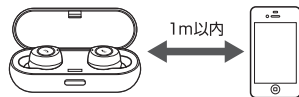
ペアリングとは、本機をBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に初期登録する操作のことです。

- はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。
- 相手側機器が他の機器とBluetooth接続しているときは、本機とのペアリングができないことがあります。事前に必ず他機との接続を解除してください。
- ペアリングが完了すると、次回以降はイヤホンを充電ケースから取り出すだけで電源が入り、相手側機器と自動接続します(手動で電源を入れたときも自動接続します)。
※接続する機器によっては自動接続しない場合があります。そのときは、以下の手順や機器付属の取扱説明書などを参照し、その都度手動で接続してください。

1

本機と登録したい相手側機器を手元に用意します。

- 相手側機器は電源が入っている状態にしてください。



2

充電ケースからイヤホンを取り出します。

- シングル接続で使うときは左右いずれかのイヤホンを取り出します(どちらでも可)。
- TWS接続で使うときは2つとも取り出します。
- イヤホンを充電ケースから取り出すと、自動で電源が入り、ペアリングモード(接続可能な機器を探している状態)になります。電源が入らないときは、マルチファンクションボタンを長押しして、手動で電源を入れてください。

3

Bluetooth機器側で本機を登録してください。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone : [設定] → [Bluetooth]

Android : [設定] → [その他の設定] → [Bluetooth]
[設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

NTT docomo : [アプリ] → [設定] → [Bluetooth]

SoftBank : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth]

au : [設定] → [端末設定] → [無線とネットワーク] → [Bluetooth 設定]

Windows Mobile : [設定] → [接続] → [Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

相手側機器で本機の名称 **HP-W500N** が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーやPINコードを求められた場合は **0000** と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機とのペアリングが完了すると…

「コア ヘッドセット イズ コネクティッド」の音声流れます。相手側機器で再生などの操作を行なってください。

ペアリング(初期登録)のしかた (つづき)

ヒントとご注意

- ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは：
 - ・本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。
 - ・相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
 - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、Bluetooth機器側で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。
- TWS接続の後、シングル接続で使うとき(またはその逆順のとき)：

自動で接続されない場合があります。そのときは相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。
- 2回目以降に手動で電源を入れるとき、マルチファンクションボタンを押す時間が長すぎると、インジケータの青／赤交互点滅が続き、自動接続されない場合があります。その場合は電源を切って入れ直すか、相手側機器の設定画面で接続操作をしてください。

音楽を聴くときの操作

マルチファンクションボタンにより、以下の操作が可能です。



再生中に1回押す	再生停止(もう一度押すと再開)
2回続けて押す(左イヤホン側)	次のトラックを再生
2回続けて押す(右イヤホン側)	一つ前のトラックを再生

ご注意

- 本機では音量調節はできません。相手側機器で行ってください。また、再接続時に音量設定がリセットされる場合があります。そのときは再度調節してください。
- 一部の機器では、Bluetooth接続直後にマルチファンクションボタンを押すと、再生を開始できるものもあります。ただし、同じ機器でも使用する音楽再生ソフトにより動作しない場合があります。
- 2回続けて押す操作はシングル接続時でも同じ動作となります(例：左イヤホンを使ったシングル接続時は「次のトラックを再生」。この場合、一つ前のトラックを再生する操作はできません)。

携帯電話着信時の操作

TWS接続時は左右どちらのマルチファンクションボタンでも操作可能です。



1回押す	電話に出る(もう一度押すと通話を切る)
2秒間長押しする	着信を拒否する

ご注意

- 本機にはリダイヤル機能はありません。
- 本機では音量調節はできません。相手側機器で行ってください。また、再接続時に音量設定がリセットされる場合があります。そのときは再度調節してください。

操作/動作時のインジケータ表示とイヤホン音声

操作内容	インジケータ表示		イヤホン音声
	シングル接続時	TWS接続時	
電源オン	3回点滅(青)		パワーオン
TWS接続完了	—	親機：点滅(青)または青／赤交互点滅 子機：消灯	TWSコネクティブ
ペアリングモード	点滅(青)または青／赤交互点滅	親機：点滅(青)または青／赤交互点滅 子機：消灯	ペアリング
ペアリング完了	ゆっくり点滅(青)	消灯	ユアヘッドセット イズコネクティブ
音楽再生中	ゆっくり点滅(青)	ゆっくり点滅(青)	—
接続中断 接続解除	青／赤交互点滅	親機：青／赤交互点滅 子機：消灯	ディスコネクティブ
電源オフ	3回点滅(赤)		パワーオフ

※インジケータの表示は操作のタイミングなどにより異なる場合があります。

※シングル接続時、「ペアリング」の音声は流れないことがあります。

マルチポイント機能について

マルチポイント機能を使うと、2台の携帯電話の着信を待ち受けることができます。
 マルチポイント機能は、親機(通常は左イヤホン)を使ったシングル接続時のみ設定・利用できます。子機(右イヤホン)を使ったシングル接続やTWS接続時では使えません。

設定方法

- 1 1台目の携帯電話とペアリングし、接続した状態にします。



- 2 ステップ①の携帯電話のBluetooth機能をOFFにします。



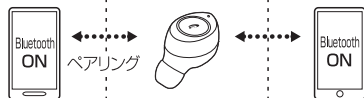
- 3 2台目のBluetooth機能をONにして、ペアリングします。



- 4 本機の電源をいったん切り、もう一度電源を入れます(2台目と自動接続します)。



- 5 1台目のBluetooth機能をONにします(しばらくすると自動接続します)。
 ※自動接続しない場合は手動で接続操作をしてください。



ヒントとご注意

- いずれかの携帯電話に着信(呼び出し)があった場合：マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。もう一度押すと通話が切れます。
- 2台とも着信があり、呼び出し中の場合：マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきた携帯電話とつながります。
- 通話中にもう一方の携帯電話にも着信があった場合：
 - ・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中の携帯電話は保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
 - ・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- 携帯電話の機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができないことがあります。その場合は相手に通話を切ってもらるか、携帯電話側で操作をしてください。
- 以下の場合、マルチポイントの設定はキャンセルされることがあります。その場合は、改めて設定し直してください。
 - ・電源を入れ直した場合
 - ・マルチポイントを設定したイヤホンとは左右違うイヤホンを次に使った場合
 - ・TWS接続をした場合
- マルチポイント機能が使えるのは携帯電話のみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- 本機と接続した2台の携帯電話を3者間通話などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのBluetooth対応携帯電話での動作を保証するものではありません。

故障かなと思ったら

症状	チェック事項
充電ケースの充電ができない	・充電コードは正しく接続されていますか。 ・パソコンに接続している場合、電源供給ができるUSBポートに接続していますか。USBハブなどを介さず、直接接続していますか。パソコンが省電力モードやスリープモードになっていませんか。 ・付属品ではない充電コードを使用していないせんか。
イヤホンの充電が始まらない	・充電ケースの電池残量が不足していませんか。 ・充電部やイヤホンの充電端子部が汚れていたり、ゴミなどが挟まっていますか。
電源が入らない	・イヤホン自体の電池残量が減っていませんか。 ・電池残量のない充電ケースから取り出していないせんか(充電ケースの電池残量がない場合、イヤホンを取り出しても自動で電源が入らないことがあります)。 ・手動で電源を入れる場合、マルチファンクションボタンを長押ししましたか(短く押しただけでは電源は入りません)。
TWS接続ができない	・イヤホンはどちらも十分に充電されていますか(片方のイヤホンだけ電池残量不足になっていませんか)。 ・2つのイヤホン間が離れすぎていませんか。 ・手動で電源を入れた場合、2つのイヤホンともマルチファンクションボタンを長押しして電源を入れましたか。
ペアリングができない	・Bluetooth機器の電源は入っていますか。 ・Bluetooth機器は本機のプロファイルに対応していますか。 ・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。 ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。
音が出ない	・正しくBluetooth接続されていますか。 ・Bluetooth機器側で再生などの操作を行ないましたか。 ・Bluetooth機器の音量が最小になっていませんか。 ・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。

症状	チェック事項
2回目以降使用時に、Bluetooth接続ができない	・本機及びBluetooth機器の電源は入っていますか。 ・Bluetooth機器が他の機器と通信していませんか。 ・Bluetooth機器がスリープ状態になっていませんか。 ・Bluetooth機器内で本機の登録が削除されていませんか。 ・TWS接続の後、シングル接続で使おうとした場合やその逆順の場合、自動で接続されないことがあります。相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。
ノイズやエコー音がする、音が途切れがちになる	・Bluetooth機器との間に障害物があったり、双方の距離が離れすぎていませんか。 ・無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
携帯電話に着信があっても、本機が応答しない	・本機との接続が解除されていませんか。 ・携帯電話の設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。 ・一部の携帯電話では、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
マルチポイント機能が設定できない	・親機(通常は左イヤホン)を使って、シングル接続にて操作していますか(右イヤホンを使ったシングル接続やTWS接続ではこの機能は使えません)。

お手入れのしかた

本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。



シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

主な仕様

電源	DC5V(USB給電：microUSB端子)
内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 (イヤホン：50mAh 充電ケース：350mAh)
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.5.0
対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP、TWS、SPP
対応コーデック	SBC、AAC
変調方式／周波数帯域	FHSS／2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
再生周波数帯域	20Hz～20kHz(A2DP)
マイク指向特性／感度	無指向性／-45dB
充電時間	イヤホン：約1時間30分 充電ケース：約1時間 (ともに残量ゼロからフル充電まで)
音楽再生可能時間	最大約4時間(50%音量)
通話可能時間	最大約4.5時間(50%音量)
待受可能時間	最大約100時間
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
防水性能	IPX4:防まつ形 (イヤホンのみ)
外形寸法	イヤホン：幅27.4×高さ22.6×奥行17mm
	充電ケース：幅92.5×高さ29.6×奥行35.9mm
質量	イヤホン：約4.4g(1個あたり)
	充電ケース：約38.3g(ケースのみ)
付属品	充電ケース、専用充電コード、イヤチップ(S・M・L ※Mは本体に装着済み)、保証書、取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、音楽再生可能時間、通話可能時間、待受可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

※本書で使用しているイラストは、実際の製品と一部異なる場合があります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。